

英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	生活と経済	配当年次 単位数	1年前期/講義 2単位(選択)	担当者	松葉 敬文		
授業概要	<p>経済の問題、と聞くと難しい、と身構えてしまう人は多いのではないのでしょうか。しかし、おやつを食べるどうか、そしてどんなおやつを食べるのかも経済の話です。また、働いてお金をもらうことも、現金で買うかクレジットカードを使うかどうかでも経済の話です。価値の生産からお金の貯め方まで、身近な選択行動から経済の姿をゆっくりと考えていきましょう。</p>						
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ① はじめに一オリエンテーション ② 経済の指標の取り方 ③ 価値と市場について—GDPの基礎概念 ④ 生産活動と所得—分け前をもらおう! ⑤ 誰がお金を使ったか?—消費や企業活動 ⑥ 市場の均衡と景気の話 ⑦ 資産とは何か—ポートフォリオ選択 ⑧ お金の価格 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ⑨ 消費者の満足とは—効用水準 ⑩ 自分にとっての価値 ⑪ 何を買うのか?—消費の選択 ⑫ 満場一致が望ましい—パレート効率性 ⑬ 企業の活動(利潤と費用) ⑭ クレジットカードの意味—予算の使い方 ⑮ 住宅ローンって?—異時点間消費選択 ⑯ 定期試験—記述式(自筆ノート持ち込み可) </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ① はじめに一オリエンテーション ② 経済の指標の取り方 ③ 価値と市場について—GDPの基礎概念 ④ 生産活動と所得—分け前をもらおう! ⑤ 誰がお金を使ったか?—消費や企業活動 ⑥ 市場の均衡と景気の話 ⑦ 資産とは何か—ポートフォリオ選択 ⑧ お金の価格 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 消費者の満足とは—効用水準 ⑩ 自分にとっての価値 ⑪ 何を買うのか?—消費の選択 ⑫ 満場一致が望ましい—パレート効率性 ⑬ 企業の活動(利潤と費用) ⑭ クレジットカードの意味—予算の使い方 ⑮ 住宅ローンって?—異時点間消費選択 ⑯ 定期試験—記述式(自筆ノート持ち込み可)
<ul style="list-style-type: none"> ① はじめに一オリエンテーション ② 経済の指標の取り方 ③ 価値と市場について—GDPの基礎概念 ④ 生産活動と所得—分け前をもらおう! ⑤ 誰がお金を使ったか?—消費や企業活動 ⑥ 市場の均衡と景気の話 ⑦ 資産とは何か—ポートフォリオ選択 ⑧ お金の価格 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 消費者の満足とは—効用水準 ⑩ 自分にとっての価値 ⑪ 何を買うのか?—消費の選択 ⑫ 満場一致が望ましい—パレート効率性 ⑬ 企業の活動(利潤と費用) ⑭ クレジットカードの意味—予算の使い方 ⑮ 住宅ローンって?—異時点間消費選択 ⑯ 定期試験—記述式(自筆ノート持ち込み可) 						
評価方法	定期試験75%、出席状況等(授業態度、レポート、小テスト、提出物などを含む)25%						
履修条件	なし						
教科書	なし						
参考書	「経済学のエッセンス100」 中央経済社 著:多和田真 他						

英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	生活と福祉	配当年次 単位数	1年後期/講義 2単位(選択)	担当者	天池 洋介		
授業概要	<p>近年、日本でもスウェーデンのIKEA、フィンランドのMarimekkoなどの北欧デザインが若い女性を中心に注目されています。本講義はこのような北欧デザインを通じて、北欧の豊かな生活と高い水準の福祉、その背景にある人々の生活と幸せを支援する国の姿=福祉国家について学びます。</p> <p>本講義は実物や映像を見ながら、ときに調べ学習や体験も交えて学ぶアクティブ・ラーニング型の講義です。話を聞くだけでなく、自ら考え、学ぶことを楽しみ、積極的に参加することを期待しています。</p>						
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本の中の北欧を探す ② 北欧デザインから幸せの支援を考える ③ 北欧デザインの背景と実際 ④ 映像で見る福祉国家の生活 ⑤ 誰もが安心して暮らせる普遍主義 ⑥ 北欧5カ国を知る ⑦ 本当の教育を考える ⑧ 現場重視の福祉制度 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ⑨ 家事や育児を分担する家庭と社会 ⑩ ブラック企業を許さない職場 ⑪ 人を助ける経済のしくみ ⑫ 北欧のいいなと思うところ ⑬ 社会をコントロールする政治の力 ⑭ そもそも福祉国家ってなんだろう ⑮ 日本で幸せを支えるために ⑯ レポート作成 </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ① 日本の中の北欧を探す ② 北欧デザインから幸せの支援を考える ③ 北欧デザインの背景と実際 ④ 映像で見る福祉国家の生活 ⑤ 誰もが安心して暮らせる普遍主義 ⑥ 北欧5カ国を知る ⑦ 本当の教育を考える ⑧ 現場重視の福祉制度 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 家事や育児を分担する家庭と社会 ⑩ ブラック企業を許さない職場 ⑪ 人を助ける経済のしくみ ⑫ 北欧のいいなと思うところ ⑬ 社会をコントロールする政治の力 ⑭ そもそも福祉国家ってなんだろう ⑮ 日本で幸せを支えるために ⑯ レポート作成
<ul style="list-style-type: none"> ① 日本の中の北欧を探す ② 北欧デザインから幸せの支援を考える ③ 北欧デザインの背景と実際 ④ 映像で見る福祉国家の生活 ⑤ 誰もが安心して暮らせる普遍主義 ⑥ 北欧5カ国を知る ⑦ 本当の教育を考える ⑧ 現場重視の福祉制度 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 家事や育児を分担する家庭と社会 ⑩ ブラック企業を許さない職場 ⑪ 人を助ける経済のしくみ ⑫ 北欧のいいなと思うところ ⑬ 社会をコントロールする政治の力 ⑭ そもそも福祉国家ってなんだろう ⑮ 日本で幸せを支えるために ⑯ レポート作成 						
評価方法	毎授業ごとの課題:45%、期末レポート:55%						
履修条件	なし						
教科書	なし						
参考書	なし						

生活デザイン学科（1年後期）／英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科（2年後期）

科目名	現代社会と法律	配当年次 単位数	上記参照／講義 2単位（選択）	担当者	近藤 真
授業概要	現代社会は当然ながら法律の社会でもある。人々は法の支配のもとにあつて、初めて安全と安心を確保できる。では、法律とは一体何であろう。本講義では、法とは何か、憲法とは何か、の根本にさかのぼりながら、現代社会にとって法律がどんな意味を持っているのかを考え、憲法の社会権を中心に、現代社会における法の到達点と課題を究明する。				
授業計画	① 入門 ② 法とは何か ③ 憲法と法律 ④ ビデオ「NZの環境法」 ⑤ 環境権とは何か ⑥ 四大公害訴訟の法的意義 ⑦ 岐阜の環境問題と法律 ⑧ ビデオ「教育問題」	⑨ 教育権とは何か ⑩ 国家と教育 ⑪ 能力主義と教育 ⑫ ビデオ「労働問題」 ⑬ 労働権とは何か ⑭ 労働時間短縮と文化的生存権 ⑮ まとめ ⑯ テスト(論述式、テキスト・六法持込可)			
評価方法	テスト70%、レポート30%、出席5%				
履修条件	なし				
教科書	法律文化社『憲法とそれぞれの人権』、三省堂『模範小六法』				
参考書	授業の中で示す				

英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	生物学	配当年次 単位数	2年後期／講義 2単位（選択）	担当者	三宅 恵子
授業概要	生命の本質は2つあります。その一つは、遺伝情報を自己複製することで後世に伝えていくこと、そしてもう一つは、代謝活動により個体の生命活動を維持することです。本授業では、まず生命の基本単位である細胞の構成要素、各器官の働き、遺伝について学び、さらに生命活動を、生殖方法、発生、機能分化などの観点からみることで、どのように個体が維持されているかを学びます。最後に、生物と環境の関わりや生命科学の諸問題について、最近の話題を取り上げながら、生命科学と社会の問題を考えます。				
授業計画	① 生命とは ② 生命の誕生と変遷 ③ 組織と細胞、構成要素 ④ 細胞の活動、組織と器官 ⑤ 細胞分裂と遺伝、染色体・DNA・遺伝子 ⑥ 様々な遺伝 ⑦ 発生、機能分化 ⑧ 生殖方法	⑨ 生物と環境の関わり 食物連鎖や物質循環 ⑩ 生物と環境の関わり 生物間の相互作用 ⑪ 科学史の中の生命科学 ⑫ 生命科学の最前線 再生医療 ⑬ 生命科学の最前線 生殖医療 ⑭ 生命科学の最前線 遺伝子診断 ⑮ 生命科学をめぐる諸問題 ⑯ 試験—記述式			
評価方法	出席状況20%、授業に対するコメントペーパー20%、定期試験60%				
履修条件					
教科書					
参考書	好きになる生物学 第2版 (KS 好きになるシリーズ)、吉田邦久著、単行本(ソフトカバー)、講談社				

英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	生活と環境	配当年次 単位数	1年前期／講義 2単位(選択)	担当者	オムニバス
授業概要	<p>山や川に育まれた「自然環境」、人間が作り出した「人工環境」、家族や制度、法律、経済などの「社会環境」、さらには近年発達がめざましい「情報環境」など、様々な「環境」の中で、私達は生活している。</p> <p>この「生活と環境」では、これらの環境が絡み合う複雑な現代社会を、心身ともに健康に安全に生活していくため、人体、衣、食、住等の環境に関する知識を習得し、社会環境の理解を深める。講義は、毎回異なる学内外の専門家が担当するオムニバス形式で行う。なお、開講順と開講演題は変更される場合がある。</p>				
授業計画	<p>① ガイダンス、食と環境</p> <p>② 学生生活とカウンセリング</p> <p>③ 性とココロとカラダ…幸せに生きるために</p> <p>④ 大学生の食生活について</p> <p>⑤ 悪質商法などの被害に遭わないために</p> <p>⑥ 地球温暖化と私たちの暮らし</p> <p>⑦ 薬物乱用防止</p> <p>⑧ 暮らしの中の認知機能</p>		<p>⑨ 未来を紡ぐ、「男女共同参画社会」へ</p> <p>⑩ 生活の中のDV</p> <p>⑪ 日常生活と防犯、ストーカー対策</p> <p>⑫ 衣生活と環境</p> <p>⑬ インターネットと情報モラル</p> <p>⑭ 知っておきたい選挙制度</p> <p>⑮ 安全・安心なまちづくり</p>		
評価方法	出席状況・受講態度30%、学内教員のレポート40%、外部講師のレポート30%				
履修条件	毎回、講義後にレポートを作成し、時間内に提出する。真摯な受講態度で授業に臨むこと。				
教科書	なし				
参考書	なし				

食物栄養学科(1年前期)／英語英文学科・国際文化学科・生活デザイン学科(2年前期)

科目名	生活と化学	配当年次 単位数	上記参照／講義 2単位(選択)	担当者	小野 廣紀
授業概要	<p>日常生活の中で、わたしたちの身のまわりにあるものは、すべて化学とかがわりがある。化学がふだんの暮らしにどれだけ役立っているかを身のまわりにあるものを通して、わかりやすく解説してみたい。</p> <p>たとえ高校で、化学を学んでいなくても理解ができるように配慮し、なるべく身近な事柄を題材に選び、生活と化学とのかかわりについて考えてみたい。</p>				
授業計画	<p>① はじめに</p> <p>② 化学の基礎知識</p> <p>③ 物質の測定(1)</p> <p>④ 物質の測定(2)</p> <p>⑤ 紫外線(1)</p> <p>⑥ 紫外線(2)</p> <p>⑦ 食物エネルギー</p> <p>⑧ ダイエット(1)</p>		<p>⑨ ダイエット(2)</p> <p>⑩ 身の回りの酸</p> <p>⑪ アルコール(1)</p> <p>⑫ アルコール(2)</p> <p>⑬ 食品中の有機化合物</p> <p>⑭ 食品中の無機化合物</p> <p>⑮ まとめ</p> <p>⑯ 定期試験</p>		
評価方法	定期試験100%				
履修条件	なし。				
教科書	化学同人「わかる化学」				
参考書	なし。				

英語英文学科・国際文化学科（1年後期）／食物栄養学科・生活デザイン学科（2年後期）

科目名	日本社会の歩み	配当年次 単位数	上記参照／講義 2単位（選択）	担当者	森田 晃一
授業概要	この授業では、私たちが生活する現代社会に直接つながる「国民国家」の成立以後について学ぶことを主眼としながら、その形成過程である近世社会の歩みを、いくつかのトピックから振り返ってみたいと思います。近世から近代への歴史をたどることで「日本社会の歩み」について認識を深め、「現代社会をより『意識的に』生きる」姿勢を養うことをねらいとしています。歴史知識の多寡を問うのではなく、私たちの毎日の生活に活かす歴史学的方法を身につけてほしいと願っています。				
授業計画	① はじめに一過去と歴史一 ② 近世社会の現代性 ③ 平和社会(1) ④ 平和社会(2) ⑤ 国際交流(1) ⑥ 国際交流(2) ⑦ 国際交流(3) ⑧ 自然環境(1)	⑨ 自然環境(2) ⑩ 伝統文化(1) ⑪ 伝統文化(2) ⑫ 身分制度(1) ⑬ 身分制度(2) ⑭ 教育制度 ⑮ まとめー日本社会の歩みー ⑯ 試験・レポート			
評価方法	出席状況・授業態度10%、内容確認テスト50%（2回実施）、期末レポート40%				
履修条件	特にありません。				
教科書	適宜、プリントを配付します。				
参考書	初回の講義で指定します。				

英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	心理学	配当年次 単位数	2年前期／講義 2単位（選択）	担当者	吉田 琢哉
授業概要	心理学は心の問題を扱うもっとも中心的な学問であるが、心をどのようにとらえるかは、同じ心理学でも領域によってさまざまである。そこで本授業は、心理学でのさまざまな“心の見方”を概観しながら、人の心理についての理解を深めることを目指す。そして心理学における基礎知識やものの考え方を身につけることを目標とする。				
授業計画	① オリエンテーション／心理学とは ② 心理学の研究手法 ③ 色彩の心理的効果 ④ 記憶のメカニズム(1)ー記憶の種類 ⑤ 記憶のメカニズム(2)ー忘却のしくみ ⑥ 人の発達 ⑦ 人の性格 ⑧ 親密な人間関係	⑨ 他者と比べる心 ⑩ 他者を見る心 ⑪ やる気メカニズム ⑫ コミュニケーションの技術 ⑬ 買い物心理 ⑭ 犯罪心理 ⑮ ストレスとのつきあい方 ⑯ 定期試験ー記述・選択式（ノート持ち込み可）			
評価方法	授業時の参加態度と小レポートの内容50%、期末テスト50%の割合で評価する。				
履修条件	なし				
教科書	使用しない。				
参考書	適宜紹介する。				

英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	ジェンダー論	配当年次 単位数	1年後期/講義 2単位(選択)	担当者	相原 征代
授業概要	<p>少子化、晩婚化、男女別姓、不妊治療、子供虐待など、新聞等のメディアでよく取り上げられている「社会問題」は、いったいどのような背景からそれらが「問題」として扱われているのでしょうか。この講義では、よく目にするテーマの「問題点」をジェンダー学的視点から再検討し、学生自らの視点でこれらの問題点の「再構成」を目指します。</p>				
授業計画	<p>① 授業ガイダンス、評価方法などの説明。</p> <p>② なぜ「ジェンダー論」を学ぶのか?—権利から解放、そして男女共同参画(男女平等)へ(1)</p> <p>③ なぜ「ジェンダー論」を学ぶのか?—権利から解放、そして男女共同参画(男女平等)へ(2)</p> <p>④ 「ジェンダー」とは何か—「セックス」との違いと「ジェンダー・トラブル」ショック</p> <p>⑤ 日本の恋愛のカタチ—恋愛と結婚をめぐる悩みを通じて</p> <p>⑥ 少子化(1)—そもそも「問題」なのか、「問題ではない」のか</p> <p>⑦ 少子化(2)</p>	<p>⑧ メディアに見るジェンダー論(1)</p> <p>⑨ メディアに見るジェンダー論(2)</p> <p>⑩ 社会の規範をめぐる問題(1)</p> <p>⑪ 社会の規範をめぐる問題(2)</p> <p>⑫ 「結婚するかもしれない症候群？」(1)—結婚をめぐる日本社会の現状(パラサイトシングル・未婚化・晩婚化・非婚化)</p> <p>⑬ 「結婚するかもしれない症候群？」(2)</p> <p>⑭ 期末論述テスト回答の方法の解説</p> <p>⑮ 前期のまとめ</p> <p>⑯ 試験—記述式(論述構成メモ持ち込み可)</p>			
評価方法	<p>授業態度・参加の姿勢 20% 授業期間中の提出物 10% 期末論述テスト 70%</p>				
履修条件	<p>特になし</p>				
教科書	<p>特になし</p>				
参考書	<p>藤田尚志・宮野真生子 編『愛・性・家族の哲学③ 家族—共に生きる形とは?』ナカニシヤ出版、2016年</p>				

英語英文学科・国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	文学と映像	配当年次 単位数	1年前期/講義 2単位(選択)	担当者	杉山 寛行
授業概要	<p>表現されたものを読み取り、表現されたものを理解する方法について学び、修得します。表現は、その媒体の特質を利用しながら、伝えたいことを様々な「かたち」として表現します。この授業では、ことばを主とする「文学作品」ち、映像や音声の主とする「映像作品」を題材に、そこではどのような「表現」の「たくらみ」がなされているかを、現代の分析理論に触れながら、実際の作品を分析することを通して考えてゆきます。自分自身で作品が分析できるようになることが、この授業の目標です。</p>				
授業計画	<p>① はじめに—オリエンテーション</p> <p>② 作品の分析(まず自分で読んでみよう)</p> <p>③ 表現のたくらみ 分節 時間表現</p> <p>④ 表現のたくらみ ストーリー/プロット</p> <p>⑤ 表現のたくらみ 錯時法 二項対立</p> <p>⑥ 作品分析(映画を分析してみよう)</p> <p>⑦ 作品分析(映画を分析してみよう)</p> <p>⑧ プロップ『昔話の形態学』の機能分析</p>	<p>⑨ 作品の「構造」とはなにか</p> <p>⑩ 文学作品の分析</p> <p>⑪ 作品の分析と批評とはなにか(レポートの作成)</p> <p>⑫ 映画の中の記号/象徴 モノがになう意味</p> <p>⑬ 映画の分析</p> <p>⑭ 映画の分析—シーンの意味するもの</p> <p>⑮ まとめ</p>			
評価方法	<p>レポート(時間内に指示する)60% 課題提出(レポートとは別に指示する)20% 出席状況・授業でのとりくみ20%</p>				
履修条件	<p>特になし</p>				
教科書	<p>プリントを配布する</p>				
参考書	<p>主題ごとに必要な参考文献を指示・紹介します。</p>				

英語英文学科・生活デザイン学科（1年前期）／国際文化学科・食物栄養学科（1年後期）

科目名	スポーツ実技	配当年次 単位数	上記参照／実技 1単位（必修）	担当者	佐野 真也
授業概要	スポーツや運動を生涯にわたって継続していくうえでは、楽しむことが大切です。そのために重要なことの一つとして、どのようなスポーツ・運動が自分の好み・体力特性・得手不得手などに合っているかを認識しておくことが挙げられます。この授業は体験型の授業とし、皆さんがこれまでの学校体育で経験してきた種目から、あまり馴染みのない種目まで、できるだけ多くの種目をカテゴリー毎に実施します。様々な種目を楽しみながら体験し、生涯スポーツ実践の礎が築かれることを目標とします。				
授業計画	① ガイダンス ② 学内スポーツ施設体験(1) ③ 学内スポーツ施設体験(2) ④ チームスポーツ（攻守分離型）(1) ⑤ チームスポーツ（攻守分離型）(2) ⑥ ニュースポーツ(1) ⑦ ニュースポーツ(2) ⑧ チームスポーツ（攻守混合型）(1)	⑨ チームスポーツ（攻守混合型）(2) ⑩ チームスポーツ（攻守混合型）(3) ⑪ 個人スポーツ（ネット対戦型）(1) ⑫ 個人スポーツ（ネット対戦型）(2) ⑬ レクリエーションスポーツ(1) ⑭ レクリエーションスポーツ(2) ⑮ まとめ *安全面から気候条件等により順序を変更する場合あり			
評価方法	受講状況60%、授業態度40%				
履修条件	運動するのに適した服装をすること。シューズは屋内、屋外それぞれに適したものを履くこと。				
教科書	なし				
参考書	なし				

国際文化学科・食物栄養学科（1年前期）／英語英文学科・生活デザイン学科（1年後期）

科目名	健康とスポーツ	配当年次 単位数	上記参照/演習・講義 1単位（必修）	担当者	佐野 真也
授業概要	この授業では、前半に各種スポーツを実施します。ただし、「スポーツ実技」とは異なり、単に身体を動かすだけではありません。運動時の消費エネルギーの求め方、健康のための身体活動量の目標値、心拍数による運動強度の設定などについての解説をし、実際に計算や測定を行います。身体だけでなく頭も使うことで、健康とスポーツ・運動との関わりについての理解を深めます。後半は、スポーツや運動によって得られる健康に対する効果、身体の変化などの基本事項についての講義を行い、さらに理解を深めます。				
授業計画	① ガイダンス ② 学内スポーツ施設体験 ③ チームスポーツ（攻守分離型） ④ ニュースポーツ ⑤ チームスポーツ（攻守混合型） ⑥ 個人スポーツ（ネット対戦型） *第2～6回は隔週。また、安全面から気候条件等により実施順序を変更する場合あり。	⑦ 講義「健康とは？運動しないとどうなる？」 ⑧ 講義「肥満と痩せとダイエット」 ⑨ 講義「身体活動量の目安、『健康』に関わる体力要素」 ⑩ まとめ 期末レポート			
評価方法	受講状況・態度60%、レポート40%				
履修条件	スポーツ実践の際には、運動するのに適した服装をすること。シューズは屋内、屋外それぞれに適したものを履くこと。				
教科書	なし				
参考書	安部孝、琉子友男「これからの健康とスポーツの科学 第2版」講談社 2520円 など。				

英語英文学科

科目名	情報処理 I (基礎)	配当年次 単位数	1年前期/講義 2単位 (必修)	担当者	松浦 康之
授業概要	Windows の操作から始めて、ワープロソフト (Word) と表計算ソフト (Excel) の操作、パワーポイント (PowerPoint) の基本操作を学ぶ。				
授業計画	① ガイダンス ② Windows の操作 ③ ファイルとフォルダの操作 ④ Word の基礎 ⑤ 文書の作成 ⑥ Excel の基礎 ⑦ 表の作成 ⑧ グラフの作成	⑨ Excel 関数 ⑩ 情報セキュリティ ⑪ 情報モラル ⑫ 情報収集法 ⑬ 情報収集 (演習) ⑭ PowerPoint の基礎 ⑮ 全体のまとめ・確認			
評価方法	出席状況・授業態度 10%、授業内課題 20%、授業内試験 70%				
履修条件	特になし。				
教科書	学生のための Office 2016 & 情報モラル / noa 出版				
参考書	特になし。				

国際文化学科

科目名	情報処理 I (基礎)	配当年次 単位数	1年前期/講義 2単位 (必修)	担当者	木村 充位
授業概要	本講義では、コンピュータに慣れ親しみ、基本的なコンピュータ操作を学ぶことでコンピュータリテラシーの技術を修得することを目標とする。他の授業のレポート作成など今後の学生生活でもコンピュータを使うことは必須であるため、Windows の基本操作を学ぶことから初めて、Word (ワープロソフト) や Excel (表計算ソフト) の基本操作方法を学ぶ。また、授業では文部科学省後援の日本情報処理検定協会が主催するワープロ検定 2 級の資格取得を意識したビジネス文書の作成なども行う。				
授業計画	①～② Windows 基本操作、アプリケーションの操作、 ファイルの操作、日本語入力 ③～④ 電子メールの利用方法と実践、 インターネットによる情報検索 ⑤～⑩ Word の基本操作 文章の作成と保存、文章のレイアウト、文章 の編集、印刷など	⑪～⑮ 表計算ソフトを用いたデータ処理 Excel の基本操作 セルへの入力、セルの書式、表計算の基本 グラフの作成、印刷など ⑯ 定期試験			
評価方法	出席状況・授業態度・レポート 50%、定期試験 50%				
履修条件	なし				
教科書	特に指定しない				
参考書	特に指定しない				

食物栄養学科

科目名	情報処理 I (基礎)	配当年次 単位数	1年前期/講義 2単位 (必修)	担当者	藤掛 和広
授業概要	<p>本講義では、ワープロソフト (MS Word)、表計算ソフト (MS Excel)、プレゼンテーションソフト (MS PowerPoint) の基本操作を学習する。 それらのアプリケーションを体験しながら学び、演習課題に取り組む事で、基礎的な技能を習得する。</p>				
授業計画	① ガイダンス ② MS Word 基本 ③ MS Word 文章作成 ④ MS Word 表の作成 ⑤ 演習課題 ⑥ MS Excel 基本 ⑦ MS Excel 関数(1) ⑧ MS Excel 関数(2)		⑨ MS Excel グラフ ⑩ MS Excel データベース ⑪ 演習課題 ⑫ MS PowerPoint 基本 ⑬ MS PowerPoint スライドの作成 ⑭ MS PowerPoint プレゼンテーション ⑮ 演習課題 ⑯ 定期試験		
評価方法	出席状況・授業態度・課題40%、定期試験60%				
履修条件					
教科書	学生のためのOffice2016 & 情報モラル (noa 出版)				
参考書					

生活デザイン学科

科目名	情報処理 I (基礎)	配当年次 単位数	1年前期/講義 2単位 (必修)	担当者	柴田 佐和子
授業概要	<p>本講義では、ワープロソフト (MS Word)、表計算ソフト (MS Excel)、プレゼンテーションソフト (MS PowerPoint) の基本操作を学習する。それらのアプリケーションに触れながら学び、演習問題に取り組む事で、基礎的な技能を身につける。</p>				
授業計画	① ガイダンス ② MS Word 基本 ③ MS Word 文章作成 ④ MS Word 表の作成 ⑤ 演習問題 ⑥ MS Excel 基本 ⑦ MS Excel 関数(1) ⑧ MS Excel 関数(2)		⑨ MS Excel グラフとデータベース(1) ⑩ MS Excel グラフとデータベース(2) ⑪ 演習問題 ⑫ MS PowerPoint 基本 ⑬ MS PowerPoint スライドの作成 ⑭ MS PowerPoint プレゼンテーション ⑮ 演習問題 ⑯ 定期試験		
評価方法	出席状況・授業態度・課題40%、定期試験60%				
履修条件					
教科書	はじめてのWord & Excel & PowerPoint 2013 (羽石著、秀和システム)				
参考書					

英語英文学科

科目名	情報処理Ⅱ（応用）	配当年次 単位数	1年後期／講義 2単位（選択）	担当者	木村 充位
授業概要	本講義では、情報処理Ⅰで演習したことを基礎にしてデータベースの作成や操作など実践的な表計算ソフト（Excel）の利用方法、プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の利用方法、ホームページ作成ソフト（Home Page Builder）のスタイルシートを利用したホームページの作成方法などを学ぶ。また、文部科学省後援の日本情報処理検定協会が主催する情報処理技能検定2級、ホームページ作成2級の資格取得を意識した演習も行う。				
授業計画	①～④ WWW および HTML の仕組み ホームページの作成 ⑤～⑧ Home Page Builder によるホームページの作成 ⑨～⑭ データベースとは Excel による自動処理 Excelによる統計処理	⑮ PowerPoint の基本操作 プレゼンテーションデータをPowerPointでレイアウト ⑯ 定期試験			
評価方法	出席状況・授業態度・レポート50%、定期試験50%				
履修条件	なし				
教科書	特に指定しない				
参考書	特に指定しない				

生活デザイン学科

科目名	情報処理Ⅱ（応用）	配当年次 単位数	1年後期／講義 2単位（選択）	担当者	坂本 牧葉
授業概要	情報を扱い、資料を作成する上での留意点を学ぶ。MS Word、Excel、PowerPoint の応用技術を演習課題によって習得する。PowerPoint の学習では、スライド作成に加え発表も行い、プレゼンテーション技術についても学ぶ。後半はAdobe Photoshop、Illustrator の操作を学び、演習課題の制作を通して専門分野に関わらず応用可能なグラフィックデザインの基礎技術を習得する。				
授業計画	① インTRODクシヨン、メールリテラシー ② MS Word(1) 文書作成の応用技術 ③ MS Word(2) 文書作成の応用技術 ④ MS Excel (1) データの集計と分析 ⑤ MS Excel (2) マクロ ⑥ MS Excel (3) マクロ ⑦ MS PowerPoint (1) スライド作成課題 ⑧ MS PowerPoint (2) スライド作成課題	⑨ MS PowerPoint (3) 発表 ⑩ Adobe Illustrator (1) 基本操作 ⑪ Adobe Illustrator (2) 基本操作 ⑫ Adobe Photoshop (1) 基本操作 ⑬ Adobe Photoshop (2) 基本操作 ⑭ Illustrator、Photoshopを用いた課題制作(1) ⑮ Illustrator、Photoshopを用いた課題制作(2) ⑯ 総評			
評価方法	出席状況・授業態度30%、課題提出70%				
履修条件	なし				
教科書	適宜、資料を配布する				
参考書	初回授業で案内する				

国際文化学科

科目名	英語 I	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位(必修)	担当者	澤田 真須美
授業概要	<p>文法や語彙の取得を毎回確認しながら、英文を多読することにより、大学での学びに必要な英語力取得を目的とする。教科書の英文を学生の興味ある内容に発展させて、学生自ら取り組める環境を整えることにより、英語での表現力の向上を目指す。世界の国々に伝わる民話を通して、日本を含む世界への知識と関心を深め、国際理解に繋げる。</p>				
授業計画	<p>① はじめに オリエンテーション ② Unit1 Why Koalas Don't Go Looking for Water (1) ③ Unit1 Why Koalas Don't Go Looking for Water (2) ④ Unit3 Ghost Husband (1) ⑤ Unit3 Ghost Husband (2) ⑥ Unit5 The Man who Married a Mouse (1) ⑦ Unit5 The Man who Married a Mouse (2) ⑧ Unit6 Lazy Jack (1)</p>		<p>⑨ Unit6 Lazy Jack (2) ⑩ Unit 9 The King and the Carpenter (1) ⑪ Unit 9 The King and the Carpenter (2) ⑫ Unit 11 The Enchanted Coffee Beans (1) ⑬ Unit 11 The Enchanted Coffee Beans (2) ⑭ Unit 13 Giant Elephant(1) ⑮ Unit 13 Giant Elephant(2) まとめ ⑯ 定期試験</p>		
評価方法	試験(確認テストを含む) 70%、レポート10%、授業への参加貢献度20%				
履修条件					
教科書	染矢正一ほか 『民話で学ぶ世界の文化Stories from Around the World』 南雲堂				
参考書	授業内で紹介します。				

食物栄養学科 (Aクラス)

科目名	英語 I	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位(必修)	担当者	中西 満貴典
授業概要	<p>BBC制作の映像を通じて英語リスニング力や英語表現の学習を多角的に行う。キャプションのついた視聴覚教材に接することにより、自動的に偶発的なリーディングを促し、多様な英語学習を展開して楽しく英語を学ぶ。興味深いトピックの平易な英文読みものに触れることによって英語の基礎力を充実させる(とくに単語の品詞や基礎的な構文)。また、イギリス英語やアメリカ英語の発音やリズムの違いなども学ぶ。</p>				
授業計画	<p>① ガイダンス ② Chapter 1 (Amber) ③ Chapter 2 (Material World) ④ Chapter 3 (Symbol) ⑤ Chapter 4 (The Maori) ⑥ Chapter 5 (Manatees) ⑦ Chapter 6 (Followers of Fashion) ⑧ Chapter 7 (Food)</p>		<p>⑨ Chapter 8 (Water) ⑩ Chapter 9 (The Marsh Arabs) ⑪ Chapter 10 (Stepping Out) ⑫ Chapter 11 (Medicine) ⑬ Chapter 12 (The Saami) ⑭ 総合読解演習(1) ⑮ 総合読解演習(2) ⑯ 定期試験</p>		
評価方法	授業態度20%、定期試験80%				
履修条件	なし				
教科書	BBC Short Clips on DVD, 成美堂				
参考書	なし				

食物栄養学科 (Bクラス)

科目名	英語 I	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位 (必修)	担当者	梅澤 敏郎
授業概要	イギリスの文化・歴史・言語について書かれた文章を読み、総合的な英語力の向上をめざす。英語の歌、重要構文の暗唱など、硬軟取り混ぜた言語活動を行っていききたい。				
授業計画	① ガイダンス ② 重要構文の読解・暗唱(1) ③ 文章の読解・総合問題の演習(1) ④ 重要構文の読解・暗唱(2) ⑤ 文章の読解・総合問題の演習(2) ⑥ 英語の歌(1) ⑦ TOEICの文法問題にチャレンジ(1) ⑧ 文章の読解・総合問題の演習(3)	⑨ 重要構文で意思表示 ⑩ TOEICの文法問題にチャレンジ(2) ⑪ 英語スピーチの練習 ⑫ 英語の歌(2) ⑬ 文章の読解・総合問題の演習(4) ⑭ 文章の読解・総合問題の演習(5) ⑮ まとめ ⑯ 定期試験			
評価方法	単位の概念を踏まえ、テスト・平常点 (授業中の態度も含む)・出席率・レポート・その他すべてを総合的に判定する。				
履修条件	初回の授業で指示する。				
教科書	プリントを配布する。				
参考書	初回の授業で指示する。高校の時用いた参考書や辞書は捨ててしまわないこと。				

生活デザイン学科 (Aクラス)

科目名	英語 I	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位 (必修)	担当者	鈴木 辰一
授業概要	身近な話題を扱った教科書を基に、リスニングとスピーキングの練習を繰り返し行い、総合的な英語力の向上を目指す。英語を発話する機会をなるべく多く作ることで、英語を使うことを楽しいと感じることができるようになっていきたい。				
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1 ③ Unit 2 ④ Unit 3 ⑤ Unit 4 ⑥ Unit 5 ⑦ Unit 6 ⑧ Unit 7	⑨ Unit 8 ⑩ Unit 9 ⑪ Unit 10 ⑫ Unit 11 ⑬ Unit 12 ⑭ Unit 13 ⑮ Unit 14 ⑯ 期末試験			
評価方法	授業姿勢 (40%)、期末試験 (60%)				
履修条件					
教科書	Graeme Todd, Roger Palmer, Makimi Kano, On Air: Listen and Communicate, 金星堂				
参考書					

生活デザイン学科 (Bクラス)

科目名	英語Ⅰ	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位(必修)	担当者	白木 玲子
授業概要	所属する学科の専門教育に関する英文に取り組み、英文読解力および聴解力を養成する。具体的には、授業計画に示されている各ユニットの英文エッセイを読むことで語彙力、文法力を強化し、英語の構造を十分に理解でき、文脈に合った正しい解釈ができるような読解力を身につける。また、英文エッセイの朗読を聴くだけでなく、リスニング問題にも取り組むことで聴解力を磨く。会話演習や、時に使用する視聴覚教材などを通して実践的な表現力を学び、総合的な英語力の向上を目指す。				
授業計画	① Introduction: 授業説明、Warm-up ② Day 1 ③ Day 2 ④ Day 3 ⑤ Day 4 ⑥ Day 5 ⑦ Review 1 ⑧ 中間試験	⑨ Day 8 ⑩ Day 11 ⑪ Day 12 ⑫ Day 13 ⑬ Day 14 ⑭ Day 15 ⑮ Review 2 ⑯ 定期試験			
評価方法	平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題など) 30%、中間試験30%、定期試験40%				
履修条件					
教科書	金星堂 Let's Check Out the UK!				
参考書	特になし				

国際文化学科 (Aクラス)

科目名	英語Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(必修)	担当者	白木 玲子
授業概要	所属する学科の専門教育に関する英文に取り組み、英文読解力および聴解力を養成する。具体的には、授業計画に示されている各ユニットの英文エッセイを読むことで語彙力、文法力を強化し、英語の構造を十分に理解でき、文脈に合った正しい解釈ができるような読解力を身につける。また、英文エッセイの朗読を聴くだけでなく、リスニング問題にも取り組むことで聴解力を磨く。会話演習や、時に使用する視聴覚教材などを通して実践的な表現力を学び、総合的な英語力の向上を目指す。				
授業計画	① Introduction: 授業説明、Warm-up ② Chapter 1 (1) ③ Chapter 1 (2) ④ Chapter 2 (1) ⑤ Chapter 2 (2) ⑥ Chapter 3 (1) ⑦ Chapter 3 (2) ⑧ Review 1	⑨ Chapter 4 (1) ⑩ Chapter 4 (2) ⑪ Chapter 7 (1) ⑫ Chapter 7 (2) ⑬ Chapter 10 (1) ⑭ Chapter 10 (2) ⑮ Review 2 ⑯ 定期試験			
評価方法	平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題など) 40%、定期試験60%				
履修条件					
教科書	松柏社 Surprising Japan!				
参考書	特になし				

国際文化学科 (Bクラス)

科目名	英語Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(必修)	担当者	白木 玲子
授業概要	所属する学科の専門教育に関する英文に取り組み、英文読解力および聴解力を養成する。具体的には、授業計画に示されている各ユニットの英文エッセイを読むことで語彙力、文法力を強化し、英語の構造を十分に理解でき、文脈に合った正しい解釈ができるような読解力を身につける。また、英文エッセイの朗読を聴くだけでなく、リスニング問題にも取り組むことで聴解力を磨く。会話演習や、時に使用する視聴覚教材などを通して実践的な表現力を学び、総合的な英語力の向上を目指す。				
授業計画	① Introduction: 授業説明、Warm-up ② Chapter 5 (1) ③ Chapter 5 (2) ④ Chapter 9 (1) ⑤ Chapter 9 (2) ⑥ Chapter 11 (1) ⑦ Chapter 11 (2) ⑧ Review 1	⑨ Chapter 12 (1) ⑩ Chapter 12 (2) ⑪ Chapter 13 (1) ⑫ Chapter 13 (2) ⑬ Chapter 14 (1) ⑭ Chapter 14 (2) ⑮ Review 2 ⑯ 定期試験			
評価方法	平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題など) 40%、定期試験60%				
履修条件					
教科書	松柏社 Surprising Japan!				
参考書	特になし				

食物栄養学科 (Aクラス)

科目名	英語Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(必修)	担当者	白木 玲子
授業概要	所属する学科の専門教育に関する英文に取り組み、英文読解力および聴解力を養成する。具体的には、授業計画に示されている各ユニットの英文エッセイを読むことで語彙力、文法力を強化し、英語の構造を十分に理解でき、文脈に合った正しい解釈ができるような読解力を身につける。また、英文エッセイの朗読を聴くだけでなく、リスニング問題にも取り組むことで聴解力を磨く。会話演習や、時に使用する視聴覚教材などを通して実践的な表現力を学び、総合的な英語力の向上を目指す。				
授業計画	① Introduction: 授業説明、Warm-up ② Chapter 1 ③ Chapter 2 ④ Chapter 3 ⑤ Chapter 4 ⑥ Chapter 5 ⑦ Review 1 ⑧ 中間試験	⑨ Chapter 7 ⑩ Chapter 8 ⑪ Chapter 9 ⑫ Chapter 11 ⑬ Chapter 13 ⑭ Chapter 14 ⑮ Review 2 ⑯ 定期試験			
評価方法	平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題など) 30%、中間試験30%、定期試験40%				
履修条件					
教科書	朝日出版社 A Taste of English: Food and Fiction				
参考書	特になし				

食物栄養学科 (Bクラス)

科目名	英語Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(必修)	担当者	
授業概要					
授業計画					
評価方法					
履修条件					
教科書					
参考書					

生活デザイン学科 (Aクラス)

科目名	英語Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(必修)	担当者	小島 ますみ
授業概要	英語のコミュニケーション能力の伸長を目的とする。CALL 教室でビデオ・音声教材を使用し、内容理解、ディクテーション、音読、ロールプレイ、シャドーイングなどのさまざまな活動をととしてリスニング力やスピーキング力を高め、実践的なコミュニケーション能力を養う。身近な話題(My free time)でのスピーチができるようにする。				
授業計画	① ガイダンス・スピーチ (My free time) ② Unit 1: Getting information ③ Unit 2: Checking in at a hotel ④ Unit 3: Asking for directions ⑤ Unit 4: Renting a car ⑥ Unit 5: Ordering a meal ⑦ Unit 6: Shopping for clothes ⑧ 中間試験		⑨ Unit 7: Asking for a favor ⑩ Unit 8: Meeting a friend ⑪ Unit 9: Checking out of a hotel ⑫ Unit 10: Expressing preference ⑬ Unit 11: Home stay ⑭ Unit 12: Offering to help ⑮ Review ⑯ 期末試験		
評価方法	出席状況・授業態度40%、中間試験30%、期末試験30%				
履修条件					
教科書	『Viva! San Francisco』 Macmillan Languagehouse				
参考書					

生活デザイン学科 (Bクラス)

科目名	英語Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(必修)	担当者	古東 佐知子
授業概要	ナショナルジオグラフィックの映像を使ったアクティビティを通して、実際に使える英語力の向上を目指す。旅行で使えるシチュエーション別の Speaking 力や、手紙など英語を使った Writing 力を向上させながら、世界の様々な文化に目を向けられるようにする。また、少々難解な TOEIC の問題にもグループでチャレンジし、発展的な英語力を身につける。				
授業計画	① ガイダンス ② Chapter 1 Spain ③ Chapter 2 China ④ Chapter 3 Peru ⑤ Chapter 4 Tokyo ⑥ Chapter 5 New York City ⑦ Chapter 6 Antarctica ⑧ 中間テスト & Review	⑨ Chapter 7 India ⑩ Chapter 8 New Zealand ⑪ Chapter 9 Africa ⑫ Chapter 10 Cambodia ⑬ Chapter 11 Egypt ⑭ Chapter 12 Italy ⑮ Chapter 13 Mars ⑯ 期末試験			
評価方法	期末試験 50% 中間テスト 30% 課題・発表 20%				
履修条件					
教科書	Carmella Lieske, <i>Globe Trotters —Practical English with Video</i> , センゲージ ラーニング				
参考書					

国際文化学科

科目名	英語Ⅲ	配当年次 単位数	2年前期/演習 1単位(選択)	担当者	白木 玲子
授業概要	現代のイギリス社会や文化、例えばスポーツや王室、ハリーポッターなど多岐にわたる話題を取り上げ、それらに関する英文エッセイのリーディングと練習問題を通して実践的な英語力を身につける。具体的には、語彙力および文法力を増強し、英語を逐語的に訳すのではなく、英語を英語として捉え、文脈に添った正しい解釈ができるようになることを目指す。また、時に用いる視聴覚教材を通して様々な状況や人物の英語に触れ、リスニング力をも養う。最終的には、イギリスや英語に対する鋭敏な感覚と知識の向上を目指す。				
授業計画	① Introduction: 授業説明、Warm-up ② Reading Exercises ③ Unit 1: David Beckham (1) ④ Unit 1: David Beckham (2) ⑤ Unit 2: The British Royal Family (1) ⑥ Unit 2: The British Royal Family (2) ⑦ Review 1: Unit 1, 2 の復習 ⑧ Unit 3: J. K. Rowling (1)	⑨ Unit 3: J. K. Rowling (2) ⑩ Unit 4: Football and Wimbledon (1) ⑪ Unit 4: Football and Wimbledon (2) ⑫ Review 2: Unit 3, 4 の復習 ⑬ Unit 5: London Theatre (1) ⑭ Unit 5: London Theatre (2) ⑮ Review 3: Unit 5 の復習 ⑯ 定期試験			
評価方法	平常点(出席状況、授業態度、小テスト、課題など) 50%、定期試験 50%				
履修条件					
教科書	適宜プリントなどを配布する				
参考書	特になし				

食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	英語Ⅲ	配当年次 単位数	2年前期/演習 1単位(選択)	担当者	コットン ランダル
授業概要	The aim of this class is for students to learn English that is useful and necessary for a variety of situations when travelling and studying overseas. Emphasis will be put on increasing students' English vocabulary. Each week, there will be a vocabulary quiz. Classroom activities include listening and reading practice, along with dialogue practice in pairs.				
授業計画	① Course introduction / Unit 1: Airport check-in ② Unit 1: Airline baggage rules / Vocabulary review ③ Unit 1 Vocabulary quiz / Unit 2: Jet lag ④ Unit 2: Time zones / Vocabulary review ⑤ Unit 2 Vocabulary quiz / Unit 3: Homestays ⑥ Unit 3: Host family rules / Vocabulary review ⑦ Unit 3 Vocabulary quiz / Unit 4: Culture shock ⑧ Unit 4: Making adjustments / Vocabulary review		⑨ Unit 4 Vocabulary quiz / Unit 5: Dormitory life ⑩ Unit 5: Suggestions and requests / Vocabulary review ⑪ Unit 5 Vocabulary quiz / Unit 6: Making friends ⑫ Unit 6: Activities overseas / Vocabulary review ⑬ Unit 6 Vocabulary quiz / Unit 9: Ordering food ⑭ Unit 9: Restaurant manners / Vocabulary review ⑮ Unit 9 Vocabulary quiz / Review ⑯ Final exam		
評価方法	出席状況30%、少テスト40%、定期試験30%				
履修条件	Be interested in speaking English and English-speaking cultures!				
教科書	<i>Communicate Abroad: Essential English for Travel and Study</i> . Simon Cookson & Chihiro Tajima, Cengage Learning				
参考書	http://cengage.jp/elt/ListeningSpeaking				

国際文化学科・食物栄養学科・生活デザイン学科

科目名	英語Ⅳ	配当年次 単位数	2年後期/演習 1単位(選択)	担当者	
授業概要					
授業計画					
評価方法					
履修条件					
教科書					
参考書					

英語英文学科

科目名	フランス語Ⅰ	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位(必修)	担当者	八代 恵子
授業概要	英語での学習経験を問わずとも、母国語においてすら言葉を明快に使いこなすことは相当の時間を要します。言語の仕組みである文法は「時間節約のカギ」と考え、新たな外国語フランス語に取り組んで欲しいと思います。文法の基礎を会得しながら、日常でよく使われる表現も少しずつ覚えていきます。「初めて」でも、「初めて」の連続でしかない毎回の授業は一定のリズムで進むので、復習・予習は不可欠となります。				
授業計画	① 第0課 オリエンテーション、アルファベ ② 第1課 名詞の性数、冠詞 ③ 第1課 前置詞と定冠詞の縮約 ④ 第1課 提示の表現、挨拶 ⑤ 第2課 動詞 être、avoir 現在形の活用 ⑥ 第2課 形容詞 ⑦ 第2課 自己紹介 ⑧ 第3課 -er 動詞(第1群規則動詞)の現在形	⑨ 第3課 所有形容詞、指示形容詞 ⑩ 第3課 人称代名詞強勢形 ⑪ 第4課 否定文、さまざまな否定表現 ⑫ 第4課 疑問文、疑問形容詞 ⑬ 第4課 カフェでの注文 ⑭ 第5課 非人称構文 ⑮ まとめ ⑯ 試験			
評価方法	出席状況・授業態度20%、小テスト20%、定期試験60%で総合的に行う。				
履修条件					
教科書	「世界遺産で学ぶフランス語」 大津俊克・瀧川広子・藤井宏尚 朝日出版社				
参考書	仏和辞典(古くても入手可能なもの。厚さ3センチ以下や根気のない人ほど電子辞書は避ける)				

英語英文学科

科目名	フランス語Ⅱ	配当年次 単位数	1年後期/演習 1単位(選択)	担当者	八代 恵子
授業概要	同じアルファベ(ット)であるからこそ、フランス語の綴り字の読み方はしばしば学習者の苦手意識の原因ですが、その規則性は楽譜の如くです。多くの学生には最後の機会なので、将来の自律学習のためにも一人でフランス語読みができる、また英語と同様の基本文法項目にも目を通すことを目標とします。状況表現では、この言語独特のリズム・イントネーションの習得にも心がけます。				
授業計画	① フランス語Ⅰの復習、仏語の歌 ② 第5課 不規則動詞 aller、近い未来 ③ 第5課 不規則動詞 venir、近い過去、時間表現 ④ 第6課 中性代名詞 en, y ⑤ 第6課 命令形、疑問副詞 ⑥ 第6課 不規則動詞 faire, prendre ⑦ 第7課 目的補語(直接・間接)人称代名詞 ⑧ 第7課 代名動詞	⑨ 第7課 不規則動詞 finir, connaître ⑩ 第8課 疑問代名詞 ⑪ 第8課 比較級・最上級 ⑫ 第8課 不規則動詞 partir, vouloir ⑬ 第9課 複合過去(助動詞 avoir) ⑭ 第9課 複合過去(助動詞 être) ⑮ まとめ ⑯ 試験			
評価方法	出席状況・授業態度20%、小テスト20%、定期試験60%で総合的に行う。				
履修条件	フランス語Ⅰの単位修得				
教科書	「世界遺産で学ぶフランス語」 大津俊克・瀧川広子・藤井宏尚 朝日出版社				
参考書	仏和辞典(古くても入手可能なもの。厚さ3センチ以下や根気のない人ほど電子辞書は避ける)				

英語英文学科

科目名	フランス語Ⅲ	配当年次 単位数	2年前期／演習 1単位（選択）	担当者	八代 恵子
授業概要	<p>基本的な文法事項を習得している学習者の語学力向上を目指します。フランス語ⅠⅡのテキストを引き続き使用します。2年目は学習者・教員ともに余裕のある学習空間が得られるので、1年目では取り組めなかった過去や未来といった時制を通して、より幅広いコミュニケーション力につなげたいと考えます。</p>				
授業計画	① オリエンテーションおよび1年次の復習 ② 第12課 代名動詞、その用法 ③ 第12課 動詞 voir, dire, pouvoir, etc ④ 第13課 命令法 ⑤ 第14課 単純未来 ⑥ 第15課 複合過去（助動詞 avoir） ⑦ 第15課 複合過去（助動詞 être） ⑧ 第16課 半過去	⑨ 第16課 大過去 ⑩ 第17課 関係代名詞 ⑪ 第17課 指示代名詞 ⑫ 第18課 比較級、最上級 ⑬ 第19課 受動態 ⑭ 第19課 現在分詞、ジェロンディフ ⑮ まとめ ⑯ 試験			
評価方法	出席状況・授業態度20%、小テスト20%、定期試験60%で総合的に行う。				
履修条件	フランス語ⅠおよびⅡの単位修得				
教科書	「新・東京ーパリ、初飛行 [新装改訂二版]」 藤田裕二、藤田知子、Sylvie GILLET 駿河台出版社				
参考書	仏和辞典（各自使いやすく入手可能なもの）				

英語英文学科

科目名	フランス語Ⅳ	配当年次 単位数	2年後期／演習 1単位（選択）	担当者	八代 恵子
授業概要	<p>2年にわたって使用したテキストの最終項目の、条件法、接続法を以ってフランス語文法学習が終了します。時間の許す限り、プリント教材などで仏語文化圏における生活者のためのより実用的なフランス語に触れたいと考えます。また「欧米文化」に括られない「フランス文化」には僅かでも毎回接触したく思います。</p>				
授業計画	① フランス語Ⅲの復習 ② 第20課 条件法現在 ③ 第20課 条件法過去 ④ 第21課 接続法現在 ⑤ 第21課 接続法過去 ⑥ フランス語文法のまとめ及び質疑応答 ⑦ プリント教材（聞き取り）(1) ⑧ プリント教材（聞き取り）(2)	⑨ プリント教材（検定など） ⑩ プリント教材（雑誌） ⑪ プリント教材（ネット） ⑫ プリント教材（バンドデシネ） ⑬ 視聴覚教材（TVニュースなど） ⑭ 視聴覚教材（シャンソン、文化トピック） ⑮ まとめ ⑯ 試験			
評価方法	出席状況・授業態度20%、小テスト20%、定期試験60%で総合的に行う。				
履修条件	フランス語Ⅰ、ⅡおよびⅢの単位修得				
教科書	「新・東京ーパリ、初飛行 [新装改訂二版]」 藤田裕二、藤田知子、Sylvie GILLET 駿河台出版社 / プリント教材				
参考書	仏和辞典（各自使いやすく入手可能なもの）				

英語英文学科

科目名	教養演習	配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位(必修)	担当者	英語英文学科各教員
授業概要	<p>教養演習では、英語英文学科各教員の研究分野を知るとともに、研究の方法や論文作成の作法など、大学で学ぶための基礎教養を身につけることを目標とする(大学生としての心構え、権利と義務、公立短期大学である本学の特色等も含む)。同時に、本を読む力、物事を調べる力、記録する力など、学生として基本的に必要な事柄を学ぶ。また、学外研修として岐阜市内の史跡、文化施設、町並み等の見学、鶺鴒見学を実施しその成果をまとめる演習も行う。</p>				
授業計画	<p>① 英語学の諸分野の紹介 ② 伝統文法・生成文法・英語史 ③ コミュニケーション研究入門(1) ④ コミュニケーション研究入門(2) ⑤ イギリス文学研究入門(1) ⑥ イギリス文学研究入門(2) ⑦ 学外研修(岐阜市内見学及び鶺鴒見学) ⑧ Independent English Study</p>		<p>⑨ Group Presentations ⑩ 達人の英語学習法(1) ⑪ 達人の英語学習法(2) ⑫ アメリカ文学研究入門(1) ⑬ アメリカ文学研究入門(2) ⑭ 学外研修レポートの作成について ⑮ 学外研修レポートの作成・提出 ⑯ まとめ</p>		
評価方法	各担当教員による評価(授業参加度、小テスト)及び学外研修レポートによる総合評価				
履修条件	なし				
教科書	適宜資料を配布する。				
参考書	各担当教員から随時授業の中で指示する。				

国際文化学科

科目名	教養演習	配当年次 単位数	1年全期/演習 1単位(必修)	担当者	国際文化学科各教員
授業概要	<p>10人程度のゼミ形式で、文章言語表現・レポート作成・文献検索・口頭発表の仕方など、学習活動に不可欠な基本訓練を行う。更に、今後の就職活動の準備の仕方などについても、指導を行う。各担当教員は、授業だけでなく、受け持つ学生のアドバイザーとなり、2年間を通して勉学、生活、就職上の相談にのる。また、各担当教員が設定した各オフィスアワーには、優先的に相談に応じる。</p>				
授業計画	<p>① 大学および大学生とは ② 本学の施設を有効利用する ③ 文章の読解力、要約力を磨く ④ 文献検索、情報検索の方法を身につける ⑤ レポート・論文を作成する(書きことば編) ⑥ 情報の伝達力を磨く(話しことば編) ⑦ 発表力を磨く(話しことば編) ⑧ 職業人に向けての心構え</p>		<p>左記の項目を中心とした内容に沿って、各担当教員が指導を行う。</p>		
評価方法	初回の授業で各担当教員が指示する。				
履修条件					
教科書	各担当教員が授業のなかで指示する。				
参考書	各担当教員が授業のなかで指示する。				

食物栄養学科

科目名	教養演習		配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位(必修)	担当者	食物栄養学科各教員
授業概要	<p>大学生として身につけるべき基礎能力を養う。すなわち、コミュニケーション、グループワーク、情報収集、プレゼンテーション、総合的な判断などを10名程度のグループ学習の中で学ぶ。食物栄養学科では、特に「食」を学ぶ意義や「食」に係わる者の倫理に重点を置いた取り上げ方をする。これらを通して、広い視野から物事をとらえ判断する力、および責任感、行動力、人間性を培う。</p>					
授業計画	① オリエンテーション：大学とは、岐阜市立女子短期大学とは何か。学生の権利と義務 ② 学生の学習技術：ノートの取り方、授業の受け方 ③ 学生の学習技術：予習・復習、図書館の使い方 ④ 演習Ⅰ：口頭発表のしかた(1) ⑤ 演習Ⅰ：口頭発表のしかた(2) ⑥ 演習Ⅰ：口頭発表のしかた(3) ⑦ 演習Ⅰ：口頭発表のしかた(4) ⑧ 演習Ⅰ：口頭発表のしかた(5)	⑨ 演習Ⅰ：口頭発表のしかた(6) ⑩ 演習Ⅰ：口頭発表 ⑪ 演習Ⅱ：レポート・論文の書き方(1) ⑫ 演習Ⅱ：レポート・論文の書き方(2) ⑬ 演習Ⅱ：レポート・論文の書き方(3) ⑭ 演習Ⅱ：レポート・論文の書き方(4) ⑮ 演習Ⅱ：レポート・論文の書き方(5) ⑯ レポート・論文提出(昨年は15回まで記載)				
評価方法	出席状況25%、授業態度25%、発表25%、レポート・論文など提出物25%					
履修条件	なし					
教科書	化学同人「栄養士・管理栄養士をめざす人の文章術ハンドブック」					
参考書	初回授業で指定					

生活デザイン学科

科目名	教養演習		配当年次 単位数	1年前期/演習 1単位(必修)	担当者	服部 宏己
授業概要	<p>大学での学習・生活は、高校までのそれとは大きく異なる。勉学は自発的にするものであり、生活面では権利と義務が伴う。本講義では、大学生活の出だしを自信とやる気を持ってスムーズに進められるよう、大学生としての基本姿勢・自ら学ぶ学習技術を会得する。まず大学とは何かを理解するとともに本学の設立趣旨・本学科の教育目標と本学施設の活用方法を学ぶ。次いで、大学生の学習技術として、ノートをとる力・読む力・調べる力・まとめる力・伝える力などを習得する。</p>					
授業計画	① 大学とは何か・本学の設立趣旨と本学科の教育目標 ② 講義ノートをとる力の習得 ③ テキストを読む力の習得 ④ 文献を調べる力の習得 ⑤ レポートを書く力の習得 ⑥ レポートをまとめる力の習得 ⑦ 成果を伝える力の習得 ⑧ 学外研修	⑨ 学外研修 ⑩ 学外研修 ⑪ 学外研修 ⑫ 特別講義 ⑬ 卒業研究中間発表会 ⑭ 卒業研究発表・展示会 ⑮ 卒業研究発表・展示会				
評価方法	出席状況・授業態度40%、レポート等提出物60%					
履修条件	学外研修参加(レポート提出)、特別講義参加、卒業研究中間発表会参加、卒業研究発表・展示会参加					
教科書	くろしお出版 学習技術研究会編著 「知へのステップ 第4版」					
参考書	なし					